



【岡山県】倉敷翠松高校 金光学園高校 笠岡高校 西備支援学校
 矢掛高校 倉敷古城池高校 岡山大安寺中等教育学校 おかやま山陽高校
 創志学園高校 就実高校

白石踊800年の伝統を受け継ぐ会

高校生ボランティア・アワード 2022

白石島

白石踊：起源は源平水島合戦

源平水島合戦とは？

俱利伽羅峠の戦いで木曾義仲に大敗して都を追われた平家軍は、いったん九州に逃れたのち、屋島(香川県)に本拠を移しました。
 西国の平家追悼に向かった木曾義仲軍は、備中国水島(現在の岡山県倉敷市玉島)で平家軍に海戦を挑みました。両軍はそれぞれ、当時は海に浮かぶ島(乙島と柏島)に陣を構え対峙しました。
 源氏軍は約5千人の兵と100隻の船、平家軍は約7千人の兵と200隻の船でした。
 寿永二年閏十月一日(1183年11月17日)、この水島合戦では正午ごろから金環日食が起き、それを予測していた平家軍は、海戦に不慣れで動揺した源氏軍に圧勝しました。天文現象を利用した戦として世界史上でも珍しいとされています。

供養から始まった白石踊

白石島は岡山県の西部に位置する笠岡諸島の島の一つで人口は450人の風光明媚な島です。
 ここ白石島には「白石踊(しろいおどり)」という国指定重要無形民俗文化財に指定されている伝統文化があります。
 源平水島合戦のときに、白石島に流れついた戦死者を島の人たちが供養するために踊り始めたのだそうです。そのため800年以上の歴史があり、連続と白石島で受け継がれてきました。
 盆踊りには大抵、手拍子が付きものですが、白石踊には手拍子がありません。その代わりに手を合わせて合掌のポーズをしています。
 死者を弔い、平和を祈る気持ちで白石踊には込められていると言えるでしょう。
 毎年8月13日～16日は島の盆があります。注意：灯籠流しが行なわれ、その後には白石踊が踊られます。かつては夜通し踊ったそうです。



全国的にも珍しい踊り

白石踊の特徴

白石踊には13種類の踊りが伝わっています。踊り手の年齢や性別によってどの種類を踊るかが決まり、衣装も異なります。
 同じリズムに合わせて一つの輪の中に複数の踊りが同時に踊られる形態は全国的にもとても珍しいそうです。白石踊は国指定の重要無形民俗文化財ですが、風流踊(ふりゆうおどり)として現在、ユネスコ無形文化遺産候補にもなっています。



後継者不足を乗り越えろ！

島内の小学校・中学校の休校

従来、白石踊は島内で伝承がおこなわれ、白石小学校・中学校では白石踊の練習や島内の伝統行事への参加がされてきました。ところが、島の過疎・少子高齢化のため、白石小学校は2019年4月から休校に、中学校も2022年3月に最後の卒業生を送り出し現在は休校中です。これらの休校が象徴するように、後継者不足で手は高齢者という状況が生まれています。

伝統を守ろう！ 若者が後継者に！

①自らが先ず白石踊の後継者に
 私たちは自分たちが自身で白石踊を踊れるように講習会に参加しています。白石島での行事に参加して白石踊の文化を知るとともに観光客と一緒に踊ります。
 ②高校生ができる方法で積極的に広報
 新聞投稿・白石踊に関連する観光プランの発表・シンポジウム参加などで白石踊の認知度を高めて若者に興味を持ってもらおうと発信しています。笠岡市役所HPにも活動報告を掲載していただいています。



私たちの継承活動

1 継承

練習会参加
 笠岡市中央公民館での定期練習会や倉敷翠松高校での講習会に参加して白石踊を習っています。太鼓に挑戦するメンバーも現れました。

島の盆参加

白石島のお盆は、8/13～8/16に開催されます。コロナ禍でこの2年間は島外の方の参加はできませんでしたが、今年度は開催が見込めます。法要の後には、お盆には帰省中の白石島出身の方々も浜辺で白石踊を踊ります。白石踊の特徴として、島外の方も踊りの輪に招き入れ、一緒に踊る包容力があります。実際に観光で訪れた外国人の方々も踊りに加わっています。かつては夜通し踊ったと言われる白石踊を私たちも島の人たちと一緒に踊りたいと思います。

記録冊子

福知山公立大学主催 地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」に私たちの活動の報告書を応募したところ 2019年度 奨励賞 2020年度 佳作 を受賞しました。2年分を合わせると、これまでの活動記録にもなるので、2つの作品を合わせた冊子も作成しました。なお、この冊子は笠岡市立図書館にも寄贈してあります。

2 広報

笠岡市HP掲載
 笠岡市役所生涯学習課HPに毎月の定期練習会の様子を掲載いただいています。私たちの継承活動の様子や白石踊をテーマにした発表や受賞については、不定期で「高校生会員による活動報告」として掲載いただいています。(高校生が文案を作り、白石踊会と笠岡市役所の校閲を経て掲載)

新聞コンクール

おかやま新聞コンクール 連続受賞
 白石踊をテーマに私たちが作った新聞を第10回おかやま新聞コンクールでは郷土賞「岡山県町村会会長賞」を受賞、第11回では入賞できました。笠岡市の素晴らしい魅力と共に、白石踊を多くの方に知っていただきたいという思いで、新聞の構成・記事の作成にあたりました。特にインパクトのある見出しを表現し、後継者の継承に繋がるよう熱意を込めました。情報発信の手段の1つでもある新聞で、白石踊の魅力や笠岡市をアピールできたことを非常に嬉しく思います。第11回の入賞に関して新聞投稿したところ掲載いただきました。(山陽新聞2022年3月20日朝刊)

白石踊大盛況！

800年の伝統がある笠岡市白石島の白石踊の継承活動に取り組んでいる私たちは、白石踊をもっとたくさんの人に知ってほしいという思いで、今回、山陽新聞社など主催の「おかやま新聞コンクール」に応募しました。私たちの新聞の内容は、ボランティアアワードで特別賞を受賞したことや、笠岡中央公民館や金光学園高校で行われた講習会の様子、高校生が企画した日帰りツアーなど多彩な取り組みを掲載しました。特に日帰りツアーでは多くの方々にご参加いただき、白石踊を初めて置いたツアー参加の皆さんと一緒に最後には全員で輪になって踊ったことが印象に残っています。こういった企画がこれからも増えてほしいと思っています。私たちの作った新聞は入選することができてうれしかったです。これから自分たちが今までしてきた活動などを後輩に伝えていき、もっとたくさんの人に白石踊を知ってもらえるように活動を頑張っていきたいです。

3 環境整備

トレッキングコース
 白石島には尾根伝いにトレッキングコースがあり、奇岩や巨石を楽しめるほか、瀬戸内海の多島美も眺めます。トレッキングコースの道をふさぐ木や枝を片付ける活動をしました。

海岸清掃

白石島には、岡山県下三大海水浴場に数えられる500mにわたる砂浜があります。ここでお盆には白石踊が踊られます。今年は是非ともこの浜辺で踊りたいと考えながら、ゴミを集めました。

4 交流人口

観光ツアー企画と実現
 源平合戦の藤戸史跡を巡ることと源平水島合戦に由来する白石踊を体験することでツアー参加者に、800年の遙か昔を体験してもらおうという観光プランをメンバーが発案し、岡山イノベーションコンテストで受賞しました。実現化に向けては地元の方々にご協力いただきました。メインである白石踊体験では、白石踊会の方々や浜辺で衣装を着て踊っていただき、白石踊の講習もしていただきました。高校生メンバーもツアー参加者の案内や白石踊体験と一緒に参加して盛り上げました。初めて白石踊を見た人達がとても感動しておられました。

チャレンジと地域の支え

私たちは高校生にできることを見つけながら積極的に活動しています。私たちを支えてくださる地域の皆様のお蔭です。ありがとうございます！これからも頑張りますので、よろしくお願いたします。

①水島合戦の観光プラン作成

白石踊は源平水島合戦の戦死者を島民が弔ったことが起源だと伝えられています。寿永二年閏十月一日(1183年11月17日)、水島合戦の最中、太陽が陰って金環日食が起こりました。事前に日食の発生を知っていた平家軍が、日食の混乱に乗じて勝利を勝ち取ったというにも珍しい戦いでした。高校生メンバーがライフパーク倉敷科学センターの学芸員さんと相談の結果、プラネタリウムで金環日食を体験し、歴史と天文の両方が学べる番組を作っていました。

②コンテスト応募とトライアルツアー

プラネタリウムで水島合戦の天空を体験する観光プランを「高校生みんなの夢AWARD2」に応募したところ、グランプリを受賞。福武教育文化振興財団様に助成いただいたおかげで、トライアルツアー(右写真)も実施できました。さらに、岡山イノベーションコンテスト「審査員特別賞」、高校生ビジネスプラン・グランプリ「ベスト20(セミアイナリスト)」、中小企業庁Japan Challenge Gate 2022「ファイナリスト」に選ばれました。

③NHK歴史番組で紹介

高校生が発案した、水島合戦の日食をプラネタリウムで再現する映像は、取材を受け、NHKの歴史番組で放送されました。
 ・BSプレミアム「決戦！源平の戦い」
 ・歴史探偵「源平合戦 壇の浦の戦い」

④観光ツアー化

倉敷の地で行われた源平合戦の史跡を巡り、プラネタリウムで水島合戦の最中に起こった日食を体験することに加えて実際に白石島で白石踊を習うという高校生のアイデアが、観光ツアーとして商品化されました。今年度15回の実施が計画されています。

⑤白石踊鑑賞ツアーのガイド役

7月には白石踊を浜辺で踊る鑑賞ツアーがあります。観光客や写真愛好家の皆さんに人気のツアーですが、今年度は3年ぶりの開催です。今回はメンバーの高校生・大学生が白石踊のルーツにゆかりの古刹に、ボランティアガイドとして参加者の皆さんをご案内します。

⑥地元の財団のご支援

私たちは白石踊会笠岡支部に所属しています。高校生がアイデアを活かして活動できるようにと、白石踊会は助成金の申請をしていただきました。公益財団法人福武教育文化振興財団には、白石踊会が平成23年度(2011)に福武文化奨励賞を受賞して以来、応援していただけており、この度は3年連続助成にも選んでいただきました。また2021年度は公益財団法人マルセルスポーツ文化振興財団様からも助成いただきました。ありがとうございます。

定期練習会での集合写真

2018年8月、島の盆で白石踊の輪に招き入れられた一人の男子高校生が自分が後継者になろうと思って始めた活動が、現在は10高校+2中学の31人という規模になり活動しています。踊りを習うという基本の活動の他に、白石踊を多くの人に知ってもらうためにコンテストやシンポジウムに参加して発表の機会を得たり、新聞投稿をしたりしています。この2年間はコロナ禍で練習会があまり開催できませんでしたが、その間に先輩方が考案した観光プランが今年度は実現化することはとても嬉しく思います。地域の皆さんや行政、財団も応援して下さる環境が形成されていて、白石島の年配の方々も「若い者が来てくれて嬉しい」と喜んでくれています。私たちもボランティアガイドや環境整備など、白石島や白石踊のために力を発揮してこれからも活動をつないでいきたいと思います。